

1977—1978

委員会活動方針



鹿児島西ロータリークラブ

会 長 挨 拶

会 長 河 井 時 義

この度図らずも会長の職務をとる様に御命令を頂きましたが、もとより浅学非才その任に非ずと思ひますが、ロータリーでは指名をうけた場合、断らないのが不文律となっておりますので最善の努力を尽して任を全うしたいと思ひます。且、折が折だけに会員皆さん方の絶大なる御協力を賜ります様心からお願い申し上げます。

先ず、ロータリークラブは会員のクラブでありますので、何事も運営の中心である理事会の決定を尊重して処理に当たりたいと思ひます。ロータリーの奉仕は個人に初って個人に終ると云う考え方は今も変わっておりません。個々の会員が各自の職業奉仕、社会生活を通じて国際的親交にまで奉仕を発展させることは綱領の示す通りでありますし、クラブ内の運営についても同様であります。ジャック・デビスR I会長のターゲットは *serve to unite mankind* (全人類を結びつけるために奉仕せよ) であり巾広いロータリーの奉仕の目標の中から、本年度の重点目標を全人類に当てられたことは地球的視野に立って奉仕せよと教えられたものと考えられ、ロータリーの進歩発展の象徴である様に思われます。そして奉仕を結ぶものは誠意と友愛、親睦であります。事新しい言葉ではありませんが、ロータリーを信奉する者のロータリーの徳義に立ってこのターゲットの意図に沿うように皆さんと共に努力して行きたいと思ひます。

省みますれば創立以来14年当クラブは輝かしい歴史を打ち立てて来ましたが、クラブの歩みは更に続けて行かなければなりません。来年度の年次大会は新福大会委員長を中心として会員一丸となって誠意を尽し、クラブの歴史に新しい一頁を加える事が出来ます様に皆さんと共に期待は同じでありますのでよろしくお願い申し上げます。

幹 事 挨 拶

幹 事 小 園 正 人

私共の西ロータリークラブも本年度は創立十五周年を迎えることになり、来年四月には当クラブがホストクラブとなって地区年次大会を主催することになり、そして五月には東京で国際大会が開催されます。

この様な極めて重要なときに幹事の大役を仰せつかり、まことに責任の重大さを痛感致して居ります。

甚だ微力ではございますが、我が西クラブのよき伝統を益々生かし、十五周年記念行事や地区大会が円滑に開かれる様に精一杯つとめたいと思っておりますので、会員の皆様方の積極的な御支援御協力を宜しく御願い申し上げます。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会 活 動 方 針

副会長 藤 安 辰 造

1. 基本方針

- (1) クラブ奉仕の各委員会と緊密な連絡をとりながら、効果的奉仕活動ができるように調整、監督し、助言する。
- (2) 会員の親密な結合、融和をはかる。
- (3) 本年度の目標「全人類を結びつけるために奉仕せよ」の方針をふまえて、ロータリアン各自が奉仕の理想の精神を充分理解して、実践的奉仕ができるように各委員会と協力する。

2. 計 画

- (1) 必要の都度クラブ奉仕部門の各委員長の協議会を開催する。
- (2) 会長・幹事と協議の上、年度計画表を作成し、各委員会の円滑な運営

を図りたい。

- (3) ビジターとの接触を深めて知り合いを拡める様留意する。
- (4) 本年度は、親睦活動、出席、ロータリー情報に重点を置く。

S・A・A 委員会活動方針

S A A 川 畑 正 美

副S A A 原 三 郎

1. 基本方針

例会場の雰囲気秩序ある中に明るく楽しいものとし、特にビジターやゲストに対し暖かい印象を与えるように努めたい。

2. 計 画

- (1) 座席配置に工夫をし、会員並びにビジターの親睦を一層深めると共に、更に楽しい例会をもつことが出来るよう努力する。
- (2) 親睦委員会と協力し合ってニコニコボックスの増収を図る。

出席委員会活動方針

委員長 池 田 広

新 原 剛

希望予算額 170,000円

新 福 栄 熊

中 村 善 治

高 妻 俊 則

1. 基本方針

クラブ細則にのっとり、例会は勿論他の会合への会員の出席を奨励し、全会員に出席規定を周知せしめるようにする。

2. 計 画

- (1) 例会の日時、場所の変更のあるときは、それを強く印象づけ忘れないようにする。
- (2) ICGF、地区大会、その他の上級会合については情報委員会の協力を得てその意義を充分知らせ出席の向上をはかる。
- (3) 出席規定については情報教育の一環として行う。
- (4) 連続出席者表彰については例年通り。

職業分類委員会活動方針

委員長 岡 山 栄
若 松 宇治彦
希望予算額 120,000円
中 村 俊 雄
佐 伯 寿 郎
鮫 島 志芽太

1. 基本方針

地域社会における専門職業の代表者をすべて網羅した効果的な会員組織をつくりあげるために役立つ資料を理事会に提供する。

2. 計 画

- (1) 現在クラブ内で代表されている職業分類を再検討し8月末までに充填および未充填職業分類一覧表を作成する。
- (2) 新しい職業分類を追加すべきものはないかに注意しながら、つねに最新の職業分類表を整備する。

会員選考委員会活動方針

希望予算額 2,000円

委員長 桜 美 義 明
池 口 恵 観
田 平 礼 章
永 井 利 承
岩 田 太 一

1. 基本方針

推せんされた人の資格，社会的地位を考慮し，ロータリーの奉仕の精神を理解でき，出席可能な人を選考し理事会に報告したい。

特に地区大会のホストを控え若年層会員の増加を期待したい。

2. 計画

退会者を考慮に入れ，最低10%の新会員入会を考えている。

会員増強委員会活動方針

希望予算額 5,000円

委員長 徳 沢 紀 生
牧 田 健 二
宇治野 純 章
久保田 彦 穂
吉 留 益

1. 基本方針

(1) 職業分類委員会，会員選考委員会と緊密な連絡をとり質の良い積極的な活動をされる若い会員を増強する。

(2) 情報委員会と協力し量のみならず現会員の質の向上に努める。

2. 計画

(1) 現会員数は86名であるが減員を考慮し年間会員増加目標を10%とする。

- (2) 全会員の協力を御願いし、職業分類委員会、会員選考委員会と協議し、当クラブの将来を考え、若い会員の増加を図る。
- (3) 会員の平均年齢、最近5乃至10年間の増加率、減員の状況等会員増強の「データ」を作製する。

プログラム委員会活動方針

委員長 浜田 馨
 二階堂 正明
 外西 寿彦
 和田 吉人
 松田 徳平

希望予算額 100,000円

1. 基本方針

ロータリーの奉仕活動にふさわしく、しかも楽しい例会になるようなプログラムを組みたい。

2. 計画

- (1) ゲスト50%、会員30%、映画其他20%の割合で年間スケジュールを組みたい。
- (2) 南洲翁百年祭を期に之に関連のものを組みたい。
- (3) 会員特に新会員の卓話をお願いしたい。

広報委員会活動方針

委員長 光 吉 正 昭
 岡 元 健一郎
 岩 元 正 二
 水 洵 清 治

希望予算額 60,000円

1. 基本方針

地域社会の理解と支持なくして、ロータリーの奉仕活動が十二分の成果をあげ得ない事実にかんがみ、広報活動を通じてロータリーの使命と活動を一般の人々に認識してもらう様立案実行したい。

2. 計 画

- (1) 広報関係者との会合を催し、広報機関を通じてロータリークラブの使命と活動を一般の人に認識してもらう様にする。
- (2) 特に本年度は第273地区地区大会が鹿児島市で開催されるので、市内他クラブ、及び西クラブ地区大会、広報準備委員会と協力して広報活動を行いたい。

親睦委員会活動方針

委員長 近 藤 典 文

希望予算額

1,350,000円

土橋 滋, 川上鉄太郎, 鮎川六男
肥後克郎, 田原迫卓視, 鹿海 武
藤都喜七, 安田正治

1. 基本方針

会員間の面識と友愛を増しロータリーのレクリエーション及び親睦の催しに会員が参加する事を奨励すると共に例会の出席と奉仕をより助長し、且つ効果ならしめる様運営することを基本方針とする。

2. 計 画

- (1) スマイル・ボックスの自主積極的申告を奨励する。
- (2) 会員間の親睦を計るため、下記の事を計画する。
 - 西クラブ親睦ゴルフ 年2～3回
 - 夜の例会を年2～3回程度開き(要会費)盃を上げて親睦の増進を計

る。

- 上記2つのみでなく季節を考慮し相対的レクリエーションを計画する。
- 婦人の集いを援助し家族ぐるみの親睦の増進を計る。
- (3) ○当クラブ外特に県外ビジターとの親睦の増進を計る。
 - 県外ビジターに対し当クラブの記念品を進呈する。
- (4) ○誕生者、結婚記念者、連続出席表彰者の献納額は従来通り2,000円とする。

ロータリー情報委員会活動方針

	委員長	下野隆三
希望予算額	200,000円	福田正臣
		塘一郎

1. 基本方針

ロータリー情報はロータリー活動の原動力であるという観点から、ロータリーの歴史綱領及びその目的、義務、組織、手続要覧等その他新しい情報を成可く広汎に全会員に伝える様努力する。

2. 計 画

- (1) 新入会員に対してはロータリーを早く理解して貰う様にその目的義務等について説明する。
- (2) プログラム委員と連絡し毎週ロータリー三分間情報の時間を設け、会長、幹事、地区委員等の経験者は勿論、その他の各委員会に持廻りで担当して貰う。
- (3) 新入会員は勿論、全会員の上部会合への出席を慫慂し炉辺会合、クラブフォーラム等には委員が必ず出席して情報の徹底を期する。

会報・雑誌委員会活動方針

希望予算額 500,000円

委員長 川 田 恵 一
高 井 敏 治
佐 伯 延次郎
岩 元 基

1. 基本方針

- (1) 会員が興味をひきそうな読み易い、親しみ易い、充実した内容を週報にのせたい。
- (2) 会員の親睦と出席の増進を計れるような編集をしたい。
- (3) 会長・幹事及び広報・情報両委員長はもとより、各委員長と連絡を密にし、効果ある週報としたい。

2. 計 画

- (1) プログラム委員長と常に連絡をとり卓話の予告及び卓話の要旨を週報にのせる。
- (2) ロータリー情報委員長と連絡をとり、ロータリー情報に関する記事、或いはロータリー教育に寄与する記事を週報にのせる。
- (3) 例会及び各種のクラブ活動、ロータリーの友、カバナー通信等の重要記事を週報にのせる。
- (4) 欠席者への週報配布は従来通り、袋に入れて準備しておき例会出席の際に受け取ってもらう。

職業奉仕委員会活動方針

希望予算額 80,000円

委員長 山 下 静 雄
平 岡 禎 吉
福 田 敏 之
岩 男 秀 彦
川 村 洋

1. 基本方針

職業奉仕という概念こそは、他の奉仕団体にない、三・〇、独自の根本理念であると言われるが、必ずしも明確ではない。この概念を明確にすることに努め、会員の実業ならびに専門的職業関係において職業論理のレベルアップの道を探求したい。

2. 計 画

- (1) 職業奉仕の本質ならびに、その実践についての声の提案を試みたい。
- (2) 優良職場を訪問し、職業奉仕に関連する見聞を広め、優良職業人の表彰をする。
- (3) ローターアクトの中に職業奉仕の観念を育成することを試みてみたい。
- (4) 職業奉仕に関する文献を整備してみたい。

社会奉仕委員会活動方針

委員長	城	哲	男
	中	尾	正 昭
	渡	辺	匡
	山	本	友 博
	内	山	光 男
	海	老	原 利 則

希望予算額 200,000円

1. 基本方針

従来からの基本方針を堅持し、地域社会における奉仕活動を積極的に推進し、かつ実践する。他の各奉仕委員会と協力して地域社会における問題点をとらえて社会奉仕活動を推進する。

2. 計 画

- (1) 職業奉仕委員会と協力して職業奉仕の理念を徹底せしめるような方策を考える。

- (2) 国際奉仕の方針に沿うような運動に協力する。
- (3) 青少年奉仕委員会と協力して奉仕活動をテーマにした対話集会を継続する。
- (4) 交通事故防止運動に積極的に参加する方策を考える。
- (5) 難病対策の必要性を地域社会に理解せしめるような方策をとる。
- (6) ロータリー賞を継続する。

青少年奉仕委員会活動方針

希望予算額 200,000円	委員長 柿 市 高 重 岩 元 紀 彦 古 木 圭 介 有 村 良 男
----------------	--

1. 基本方針

今回よりサブコミッテーターとして設けられたIAC、RACの部長と連絡をとり、円滑に活動して行きたい。

特に、RAC活動については、昨年誕生し、今年はそれが強力に充実、成長する事を期したい。基本的には「常にRCと共にあるRAC」と言う事で進みたい。

2. 計 画

- (1) RACの例会には、なるべく多数のRCメンバーの出席をお願いしたい。
- (2) 早朝掃除、施設訪問等、必ずRCメンバーの同行をお願いする。
- (3) IAC活動については、特に鶴丸高の先生方との懇談会をもちたい。
- (4) 青少年野外活動については、RACメンバーの交友関係、RCメンバーの職場の青少年の参加を求めて行きたい。

青少年奉仕委員会

ローターアクト部会活動方針

	部会長	高橋	司
		篤	辰雄
希望予算額	500,000円	後藤	泰久
		林	幸光
		米倉	清嘉

1. 基本方針

青少年の健全な育成教化と若者の行動力を生かす会員のアクトに対する関心、理解を深める。

西アクトクラブの充実維持(質的)を計る。

あらゆる機会に合同企画を計る。(要するに相互全会員が交流の機会をもち、共に一丸となって奉仕活動の充実を期す)

2. 計画

- (1) 例会に2名以上必ず出席する。(そして明るく活気ある例会にする)
- (2) 273地区年次大会、幹部研修会に参加、援助
- (3) 卓話者に当クラブ会員を極力推薦したい。
- (4) 例会に委員会別の出席と合同例会を計画する。
- (5) 毎月第一日曜日の早朝作業と施設訪問に参加する。(社会奉仕委員会と連繋)
- (6) 努めて各種行事(例会を含む)に招待し、又参加する。
- (7) 資金調達に知恵を貸す。
- (8) 28才の年齢制限の緩和検討

青少年奉仕委員会 インターアクト部会活動方針

希望予算額 300,000円

部会長 久保政次
尾辻省悟
柴山一雄
徳田基
吉田憲一

1. 基本方針

青少年奉仕委員会の中の一つの独立した部会として I A 部会を設けた以上、其の趣旨に則り原点に帰り当クラブ提唱 I A 鶴丸高・鹿高の育成強化に努めたい。

本県 I A は R C によって行なわれる青少年に対する奉仕活動ではなくて、R C が青少年と共に働く一つの方法であるとの認識に立ち、良き指導と助言を行って行きたい。

2. 計 画

- (1) 当面鶴丸高 I A の育成強化に全力を挙げたい。
- (2) 例会並に各種行事に極力招待すると共に I A の会合に部会員が出来るだけ出席し援助助言する。
- (3) 第 273 地区 I A 第 13 回年次大会に I A と共に参加し、共に考え、共に働く様にする。
- (4) その他考えられるいゝろんな助成の方法を実施して行きたい。

国際奉仕委員会活動方針

希望予算額 600,000

委員長 木治屋 克己
橋口 十蔵
岩元 健吉
小山 幸義
瀬戸山 勝資

1. 基本方針

国際理解を深め、親善および平和を増進する努力を続け、全会員の参加をお願いする。

2. 計画

- (1) 交換学生受入家庭の選定および全会員の協力、援助をお願いする。
- (2) 留学生への援助をさらに進めながら例会、家族会などに招待し、会員との親睦と相互理解を深める。
- (3) 世界理解週間に因んでの催物を計画する。
- (4) 世界社会奉仕計画の一環である海外クラブとの交流について積極的に検討する。

ロータリー財団委員会活動方針

委員長 池田 稷
徳留 栄次
桜美 四郎
小池 鉄太郎

1. 基本方針

ロータリー財団の目的である国際理解と親善友好関係の増進を図るため次のことを基本事項として活動する。

- (1) ロータリー財団のことをよく知らせ理解してもらうこと。

- (2) ロータリー財団の仕事へ参加してもらうこと。
- (3) ロータリー財団に対する財団支援を奨励すること。

2. 計 画

- (1) 補助金候補者の推薦
- (2) 地区内に留学している他ロータリー財団補助金受領者に我国の理解を深めてもらうためのいろいろな機会の提供
- (3) ロータリー財団週間（11月15日を含む）の行事参加
- (4) 百万\$ 食事年6回による差額の寄付
- (5) 1,100%クラブから1,400%クラブを目標とし準フェロー会員の希望を募る。